

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報（カルテの情報）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

<p>試料・情報の利用 目的及び利用方 法</p>	<p>●研究の名称 熱中症患者の医学情報等に関する疫学調査</p> <p>●研究の対象 2019年10月31日までに浜松医科大学附属病院において、熱中症と診断された全ての入院患者</p> <p>●研究の目的 夏季になると熱中症の重症患者に関する報道が多くみられる。しかしながら、本邦における重症熱中症の実態については、ほとんど解明されていないのが現状である。日本救急医学会熱中症に関する委員会は2006年から熱中症の実態に関する全国調査を行い、重症者の多くが日常生活の高齢者であることを明らかにしてきた。今後は、その病態や治療方法について、より具体的な対策を講じていかねばならない。 本研究は、重症熱中症の全国規模の実態調査であり、先の調査を基に調査項目を設定して、原因や病態の解明および治療や予後の実情を把握し、発生の予防に向けた地域医療へのアプローチを検討することを目的に行うものである。</p> <p>●研究の期間 2017年7月1日～2018年3月31日</p> <p>●他の機関に提供する場合には、その方法 本研究では診療録から取得された情報は、必要項目を記入した登録用紙を日本救急医学会熱中症に関する委員会宛にFAX送信・Web登録して収集する。個人情報の保護のため、氏名、住所、生年月日、電話番号等の個人を識別できる情報については登録されない。また、収集した情報と個人識別情報を連結するための対応表も提供しない</p>
<p>利用し、又は提供</p>	<p>●研究に使用する情報：</p>

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

する試料・情報の項目	年齢、性別、発生状況、バイタルサイン、血液検査データ、治療データ、転帰など
利用する者の範囲	●共同研究機関の名称及び研究責任者 帝京大学 救急医学講座 助手 神田 潤 日本救急医学会熱中症に関する委員会 委員長 清水敬樹
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	●情報管理責任者 研究責任者：帝京大学救急医学講座 教授 三宅康史
試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）	あなたの試料または情報を研究に使用することや、あなたの試料または情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡ください。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。
資料の入手または閲覧	熱中症疫学調査の結果は日本救急医学会のWEB ページで公開されます。
情報の開示	熱中症疫学調査の結果は日本救急医学会のWEB ページで公開されます。
問い合わせ先	〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学医学部附属病院 診療科：救急科 担当者：吉野篤人 TEL： 053-435-2111 FAX：053-435-2796 E-mail：yoshino@hama-med.ac.jp